

Deno の話

Deno 使ってますか? 🙋 🙋

# 話す人

#### 日野澤歓也 twitter @kt3k

- GREE (2012 2013)
- Recruit (2015 2019)
- Deno Land (2021 -)

**2018**年から Deno にコントリビュート を開始。**2020**年作者に誘われ Deno



Land に転職。現在はフルタイムで Deno と Deno Deploy を開発中。

Deno のロードマップ

#### Deno のこれまでのロードマップ

- Web 互換性
- TypeScript サポート
- ESM サポート
- V8 サンドボックスセキュリティ
- Node を上回るHTTPパフォーマンス

#### Deno のこれまでのロードマップ

- Web 互換性 ▲
- TypeScript サポート ✓
- ESM サポート **▽**
- V8 サンドボックスセキュリティ
- Node を上回るHTTPパフォーマンス X

v1.0 時点

#### Deno のこれまでのロードマップ

- Web 互換性 **☑**
- TypeScript サポート ✓
- ESM サポート **☑**
- V8 サンドボックスセキュリティ
- Node を上回るHTTPパフォーマンス ▲

v1.16 (最新) では大部分達成

#### Deno のこれからのロードマップ

#### Deno のこれからのロードマップ

- さらなるHTTPパフォーマンス向上
- Node.js 互換性 (後述)

Q. Node製のライブラリはDenoで使えるか

- Q. Node製のライブラリはDenoで使えるか
- A. 主に2つの方法がある (どちらも完璧ではない)
  - npm モジュールを Deno 用に変換する CDN を介して使う方法 (非公式)
  - Deno の Node.js 互換モードを使う(2022 Q2 予定)方法 (公式)

# 1) npm モジュールを Deno 用に変換する CDN を介して使う (非公式)

• esm.sh

https://esm.sh/<package名>

skypack

https://cdn.skypack.dev/<package名>

React などはこの手法で動く

```
import React from "https://esm.sh/react";
import ReactDOM from "https://esm.sh/react-dom";
```

### 2) Deno の Node.js 互換モードを使う

- 現在、Deno コアチームにて鋭意開発中
- 2022 Q2 の v2 リリースである程度使える状態にする事が目標

```
npm install express
deno run --compat --unstable -A server.js
```

```
const express = require('express')
const app = express()
app.get('/', (req, res) => {
  res.send('Hello World!')
})
console.log('Listening on localhost:3000');
app.listen(3000)
```

Node.js 互換モードについては v1.5 リリース記事 に概要の記述があります。

A. 必要最小限のものを渡す

例. リンター

deno run --allow-read linter.ts

例. フォーマッター

deno run --allow-read --allow-write formatter.ts

A. ネットワークパーミッションを渡す場合はホスト名 を指定する

例. ポート8080で動く、Postgres と通信するサーバー

```
deno run \
   --allow-net=localhost:8080,host-to.postgres:5432 \
   server.ts
```

- Q. 権限管理のベストプラクティスは?
- A. 環境変数、プロセス実行は許可範囲を出来るだけ絞る

```
deno run \
   --allow-env=AWS_ACCESS_KEY_ID,AWS_SECRET_ACCESS_KEY \
   do_something_in_aws.ts
```

deno run --allow-run=git do\_something\_with\_git.ts

Note: --allow-run (引数なし) --allow-run=deno は --allow-all (すべて許可) と同じとなるため注意

以下のコードで権限の昇格が可能

```
Deno.run({
   cmd: ["deno", "run", "--allow-all", import.meta.url]
});
```

Webサーバ用のライブラリ比較

#### Webサーバ用のライブラリ比較

- Webフレームワークが20個ぐらいある。
- 以下おすすめを紹介

#### 1) oak

- 一番人気
- koa にインスパイアされたデザイン

```
import { Application, Router }
  from "https://deno.land/x/oak/mod.ts";
const router = new Router()
  .get("/", (context) => {
    context.response.body = "Hello world!";
  .get("/book/:id", (context) => {
    context.response.body = books.get(context.params.id)
  }):
const app = new Application();
app.use(router.routes());
await app.listen({ port: 8000 });
```

## 2) std/http + URLPattern API

• std/http は Deno 標準モジュールが提供する http サーバー機能

```
import { serve }
  from "https://deno.land/std@0.114.0/http/server.ts";
const topPage = new URLPattern({ pathname: "/" });
const myPage = new URLPattern({ pathname: "/me" });
console.log("Listening on http://localhost:8000");
await serve((req) => {
  if (topPage.test(req.url))
    return new Response("Top page");
  if (myPage.test(req.url))
    return new Response("My page");
  return new Response("Not Found", { status: 404 });
}):
```

### 3) sift

• JSX 対応などが便利、ミニマルな API

```
/** @jsx h */
import { h, jsx, serve }
  from "https://deno.land/x/sift@0.4.2/mod.ts";
const App =
  () => <div><h1>Hello world!</h1></div>;
const NotFound =
  () => <div><h1>Page not found</h1></div>;
serve({
 "/": () => jsx(<App />),
 404: () => jsx(<NotFound />, { status: 404 }),
}):
```

Q. When will deno be production ready

### Q. When will deno be production ready

- It depends on what you need in production.
- ランタイムの安定性という意味では既に production ready と言って良い段階
- API も 1.0 以降は semver を遵守しているため、バージョンアップで急に壊れたりはしない
- npm モジュールが使えなければ困るという事であれば 2022 Q2 (目標) の Node.js 互換モードを一旦待ってください

Q. deno が TS を捨てたときの裏話? があれば聞きた

https://docs.google.com/document/d/1\_WvwHl7BXUlpru=AAABcrrKL5k\*nQ4LS569NsRRAce2BVanXw

#### deno が TS を捨てた話

内部 API 実装で Deno は最初は TS を使っていたが、それを辞めて素の JS を使うようになったという話

#### deno が TS を捨てた話

- 内部 API の TS は Deno のユーザーが使う TS とは 全く別物で独自の専用プログラムでバンドルしてい た
  - そもそもメンテできる人が限られていた
- dts 定義なども独自ツールで生成していたが、そのツールのバグで特定の型の API が定義出来ない不都合などがあった
  - メンテできる人もほぼ1人だった
- => 辛さが限界に達し、**TS** をやめた方が良いという判断になった

Deno の話 2021 @kt3k - 29 / 35

Q. ORM比較

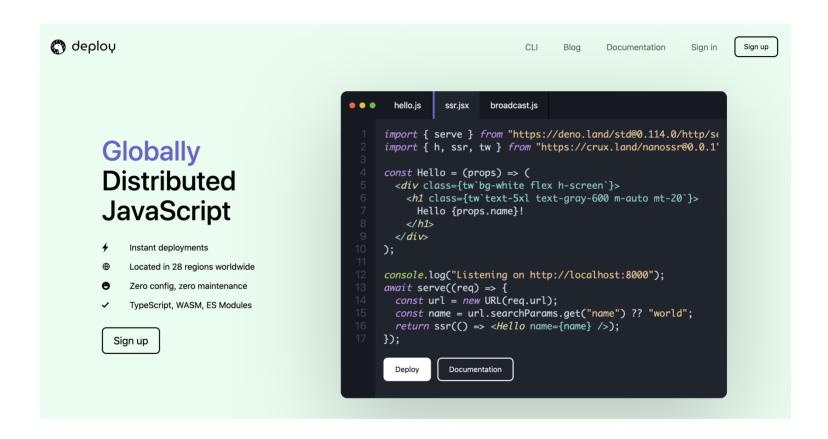
#### ORM 比較

- 現状だと denodb しか選択肢がなさそう。参考: Deno で試すデータベースアクセス
- prisma は未対応
- マイグレーションは <u>Nessie</u> がそれなりに動いてる 模様

(Deno コアチームは ORM に対する意識がおそらくかなり低い)

宣伝

# **Deno Deploy**



# **Deno Deploy**

- Deno と互換な Serverless at Edge サービス
- Deno のサブセットとなる APIをサポート
- 世界 <u>28 のデータセンター</u> に自動的にデプロイ
- 非常に高速なコールドスタートアップタイム (\*)
- DB 接続も可能 <u>参考</u>
- 前述の oak , sift , std/http などのフレー ムワークもそのまま利用可能



Deno の話 2021 @kt3k - 35 / 35